Allied Telesis

MANAGEMENT Total Networking Solutions

ユニファイド・ネットワーク・マネージメント・アプライアンス

AT-VST-APL シリーズ

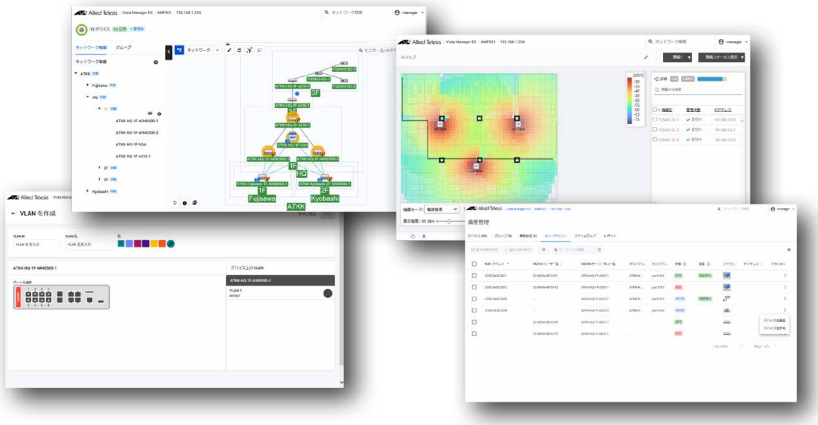
AT-VST-APL-06b-Z5

※「-Z5」はデリバリースタンダード5年加入権利付き

AT-VST-APL-10b-Z5

AMF Plus　AMF SEC　AWC　AWC CB　AWC SC

VISTA MANAGER APL



Management

AT-VST-APL-06

10/100/1000T 6Ports自動認識

AT-VST-APL-10

10/100/1000T 6Ports自動認識

100/1000/10GT 4Ports自動認識

AT-VST-APLシリーズ※1は、ネットワークの統合管理に必要な機能をパッケージ化したアプライアンスボックスです。

シリーズ共通で10/100/1000BASE-Tポートを6ポート搭載し、AT-VST-APL-10はさらに100/1000/10GBASE-Tポートを4ポート装備しています。

有線LANを一元的に管理し、さらに保守性を高めるAMF Plusマスター機能、無線LANを効率よく運用可能なAWC機能、様々な脅威からネットワークを守るAMF-SEC、機器の認証を管理するRADIUSサーバー機能、そしてそれらを統合して快適なユーザーインターフェースを提供するVista Manager APLが、この一台ですべてご利用いただけます。

様々なIoTデバイスを含む有線・無線デバイスをグラフィカルに一元管理可能なAT-Vista Manager EXのコア・アーキテクチャーはそのままに、アプライアンス版として最適化された統合管理機能は、優れたユーザー・エクスペリエンスをご提供します。

AMF Plus環境の管理は、サードパーティーデバイスも含めた、ネットワーク全体を一括して表示するヘルスモニター・ダッシュボードを提供します。そして有線の管理では、WANとLANを統合して機器や通信の状態を表示することも可能なマップ表示機能を備えています。

AT-VST-APL バージョン3.12.1より、APIインターフェースを通じてAMF Plusが収集した情報と、外部アプリケーションが持っている情報連携がさらに構築しやすくなります。また、SlackやMicrosoft Teamsのようなコミュニケーションツールのチャンネルへ通知を自動投稿することができるようになりました。

無線管理では、自律型無線LANソリューションAWC(Autonomous Wave Control)によるWi-Fi 6(E)/7無線環境の管理をはじめとして、ローミングレス無線環境を提供するAWC-CB(AWC-Channel Blanket)や、イーサネットケーブル不要で電源を入れるだけで無線エリアを拡張できるAWC-SC(AWC-Smart Connect)など、最新の機能をご利用いただくことができます。

※1　ハードウェアリビジョン Rev.A1、Rev.B1、Rev.C1、Rev.D1、および Rev.F 以降を使用する場合は、パッケージバージョン 3.12.1 以降を使用してください。それ以外のパッケージバージョンはサポート対象外となりますのでご注意ください。

・本製品をご購入の際には、有償サポートサービスのご契約が必須です。
・製品名称AT-VST-APL-06bの製品本体はAT-VST-APL-06、製品名称AT-VST-APL-10bの製品本体はAT-VST-APL-10です。
・AMF Plus Cloud、AWC機能はオプションのライセンスによりご利用いただけます。

2026年6月

AT-VST-APL シリーズ

AMF Plus Cloud【拡張ライセンス】

AMF Plus Cloudは、Autonomous Management Framework（AMF）により、標準規格では対応が難しいネットワーク構成の自動構築や自動復旧、一斉変更などを実現し、ネットワークの運用・管理コストの削減と高い利便性を提供します。

AMF Plusマスターライセンスは個々に動作するネットワークデバイスを連携させるとともに、管理者やユーザーの意思（インテント）に基づいた、信頼性の高い通信環境の構築を実現します。

Vista Manager APL

統合ネットワーク・マネージメントソフトウェアAT-Vista Manager EXと同様に、LAN/WANそして無線も含めた統合管理を実現します。

●一元管理に最適なトポロジーマップ

AMF Plusネットワーク構成は自動認識されて、リストやマップで表示できます。階層化されたマップ表示により、大規模ネットワークにも対応します。様々なIoTデバイスなど、AMF Plusメンバー以外のノードについては、デバイスディスカバリー機能および外部資産管理ツールとの連携によりノードを可視化して状態監視します。

また、マップのアイコンは手動で任意に配置することができ、カスタムアイコンを適用することも可能です。アイコンの位置固定機能や複数選択モードにより、トポロジーをより柔軟に管理することができます。

さらに、機器異常等の各種イベント発生時には、管理者に視覚的に通知します。

●経路情報を視覚化するTracepath

2台の任意の機器間について、経路情報をマップ上で表示します。物理的に複数の経路が存在するような複雑化されたネットワークにおいて、現在の通信経路を可視化します。

これにより、通信遅延やトラフィックの集中など、問題点の特定が容易となり、トラブルを未然に防ぎます。

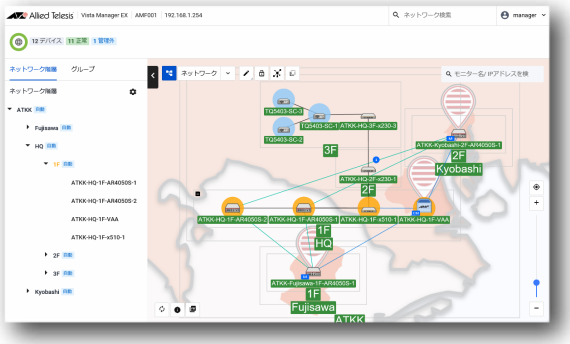
●VLANマップ

GUI上でVLAN情報の設定と可視化を行います。AMF Plus機器間のVLANによる論理接続状態の把握やVLAN設定も容易です。

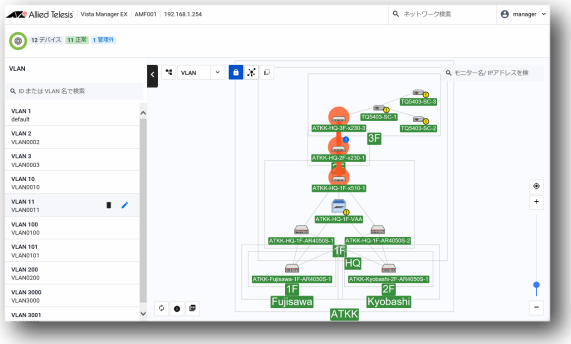
●RMON/sFlowベースのトラフィックマップ

AMF機器間のリンク速度やトラフィック量をRMONにより可視化します。これにより、ネットワーク帯域の見直しや、障害発生時の一次切り分けの情報として利用可能となります。過去にさかのぼって、任意の時間のトラフィック量を確認することもできます。

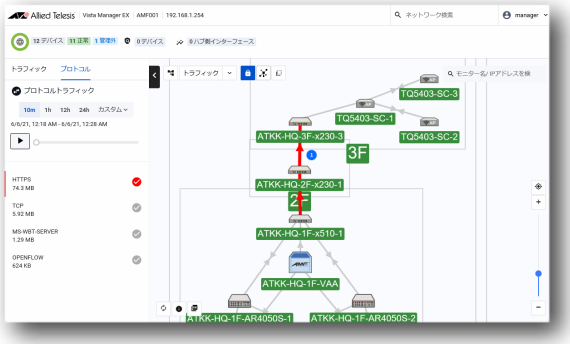
さらに、sFlowのご利用により通信プロトコルごとの帯域利用状態を把握することも容易です。ボトルネックとなるような機器の推定のみならず、システム全体の最適化にも貢献します。



●ネットワークマップ
各種デバイス、Tracepathの表示



●VLANマップ
AMF Plusネットワークの VLANマップを表示

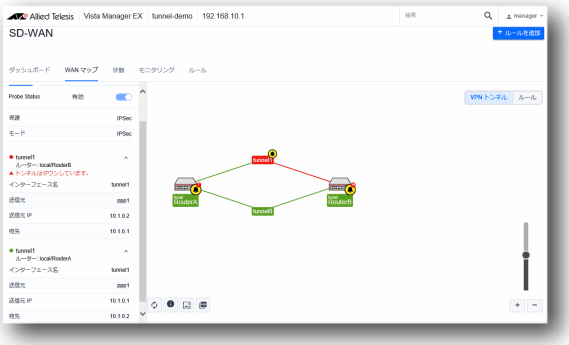


●トラフィックマップ
通信プロトコルごとの通信量表示

Vista Manager APL

●WANトポロジーマップ

VPNの論理ネットワークをマップ表示することで可視化。イントラネットを管理・運用するためにWAN回線の可視化は必要不可欠です。WANトポロジーマップ上では、IPsecで構築されたVPNの結線情報やPPPoEのトンネル構成を検出して、各論理回線の状態を表示できます。WAN/LAN（有線/無線）すべてのトポロジーを1枚のマップに収めることが可能です。
また、リンク監視機能のリンク監視プローブや、SD-WANロードバランス、ポリシーベースルーティングの設定を、AT-VST-APLシリーズから各AT-ARルーターに対して行うことが可能です。
対応する製品をご利用の場合は、5Gによる通信も選択肢に加わり、より快適なネットワークを実現します。



●WANトポロジーマップ
それぞれのVPNの論理接続状態をマップ化。回線品質状態も表示可能

●リンクモニタリング

それぞれのVPN回線に対しジッター、レイテンシー、パケットロスなどの情報を時系列でグラフ化し、かつ使用しているアプリケーションをランキング形式で表示できますので、回線状態を把握できます。

●閉域網での日付時刻設定の同期

外部NTPサーバー不要で、日付時刻設定が同期可能です。工場などのローカルな閉域網においても、AT-VST-APLシリーズをNTPマスターとすることができますので、別途サーバーを設置することなく無線環境を構築可能です。

●Syslogサーバー機能

Syslogサーバー機能も追加ライセンス不要でご利用いただけます。ネットワーク機器が生成・送信するSyslog情報を収集し、リスト表示します。加えてSyslogサーバーが受信したメッセージは、電子メールとネットワークマップ上のアラームで通知できます。ネットワーク障害や不正アクセスの状況を把握することで問題点を早期に検知して、事前の対策を可能とします。

AT-VST-APL シリーズ

AMF Plus 統合管理

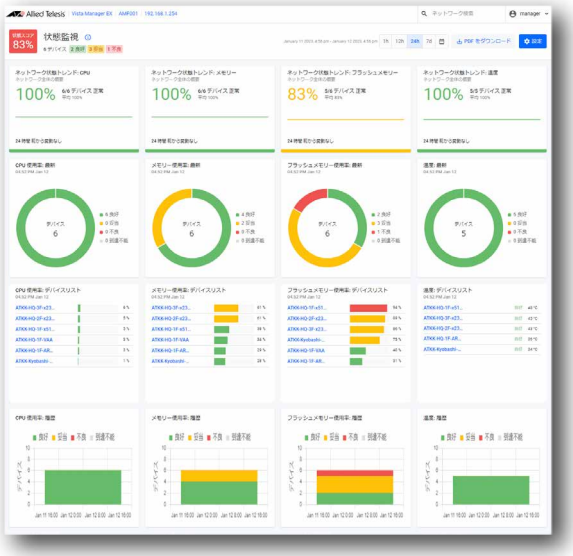
AMF Plusネットワーク環境では、AMF Plus統合管理機能をご利用いただけます※2。

AMF Plusの最大の特長は、ネットワーク上の情報/データを自動的に収集・検出し、ネットワークトポロジーとITシステムを紐づけることです。AMF Plusはネットワーク上のデバイスを自動検出し、ネットワークの物理・論理構成と紐づけて動的な資産管理を実現します。さらに、検出したデバイス情報にセキュリティーポリシーも連動し、末端までの安全性・堅牢性を柔軟かつ継続的に提供します。

※2 AMF Plus統合管理機能をご使用の際は、本製品のAMF Plus Cloudで、AMF Plusコントローラーまたは AMF Plusマスターが機能しているか、あるいは、管理対象のネットワーク上に、AMF Plusコントローラーまたは AMF Plusマスター（AMF Plusマスターライセンス搭載製品）が設置されている必要があります。AMFは、AMF Plusの基本機能として引き続きご利用可能です。AMF Plusマスターライセンスと旧AMFマスターライセンスが混在している場合は、AMFノードマネージメント機能のみをご利用いただけます。また、AMF Plusコントローラー/マスターライセンスはファームウェアバージョン5.5.2-2.3以降の機器に適用いただけます。

●HMD（ヘルスモニター・ダッシュボード）

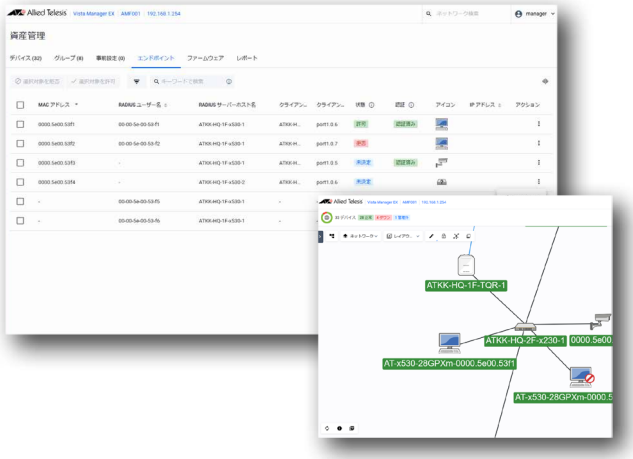
AMF Plusメンバーの CPU、メモリー、温度情報などに加えて、AMF Plus環境に接続されているサードパーティーベンダーの機器についても標準プロトコルで定期的に情報収集し、ネットワーク全体の健全性を数値化します。数値は履歴化してグラフ表示することで、ネットワーク全体の状態監視、トレンド分析、および指定管理者に対するメールでのアラート通知も可能です。



●ヘルスモニター・ダッシュボード
ネットワーク全体の健全性を表示

●DAM（ダイナミック・アセット・マネージメント）

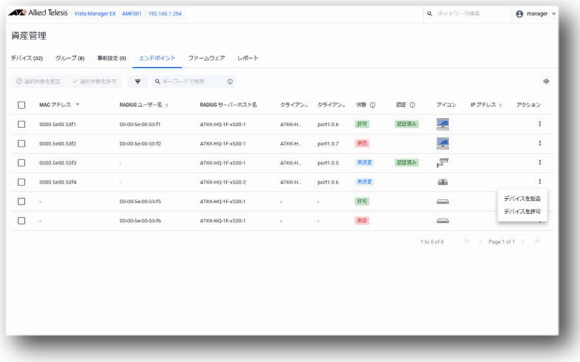
ネットワーク機器だけでなくPCやIPカメラなど、ITインフラ配下の全端末の可視化を可能とします。接続端末の検索をするため管理外の機器も検出します。加えて、他ベンダーの機器も検出可能で、過去に接続されていた機器の履歴も長期間保持することができる電子管理台帳として動的な資産管理を実現します。



●エンドポイント表示
他ベンダーの端末も含めたエンドデバイス検出と管理

●IES（インテリジェント・エッジ・セキュリティー）

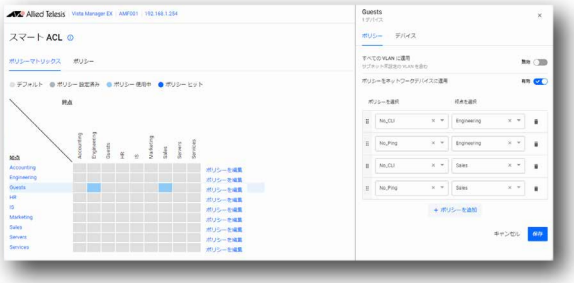
エンドポイント画面では検出した個々のデバイスに対してそれぞれ接続許可/拒否の設定が可能です。AlliedWare Plus製品のローカルRADIUSや、AT-RADgate、エイチ・シー・ネットワークス社のAccount@Adapter（外部RADIUSサーバー）と連携することで、エージェントレスなエンドデバイス接続管理を実現します。これにより、組織のネットワークの健全性を高めることに貢献します。



●デバイス接続設定
検出デバイスへのアクセスポリシー適用

●スマートACL機能

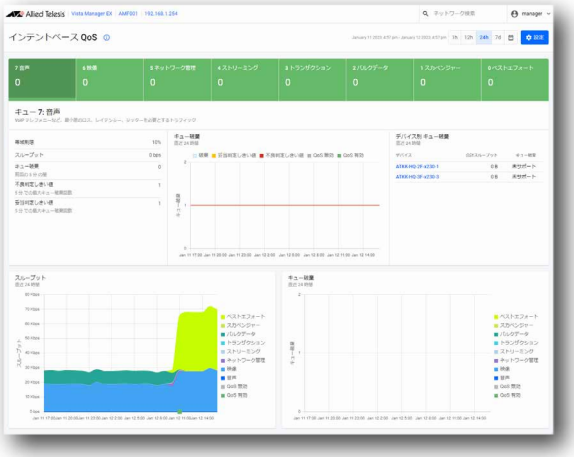
アクセスポリシーの確認と設定がGUI上から操作可能です。また、ACLの自動投入により各機器間で設定の不整合を生じるリスクを抑えられます。管理対象のネットワークが従来のAMFネットワーク環境の場合は、任意のサブネット間の設定情報を視覚化するACLユーティリティー機能のみ利用可能です。また、IESと連携して、接続機器のネットワークアクセスを適切に管理・制御することが可能です。



●ACL設定
アクセスポリシーをGUIで適用

●インテントベースQoS機能

AMF Plusメンバーのキューステータスを収集し、ネットワーク全体を仮想キューと見立てた帯域使用状況をグラフィカルに表示します。キューごとの重みづけやプライオリティー設定を、現状の使用状況を踏まえて、管理者の経験とスキルによることなく調整することが可能です。



●インテントベースQoS表示
仮想キューの帯域使用状況を表示

●アプリケーションごとの通信制御（アプリケーションQoS）

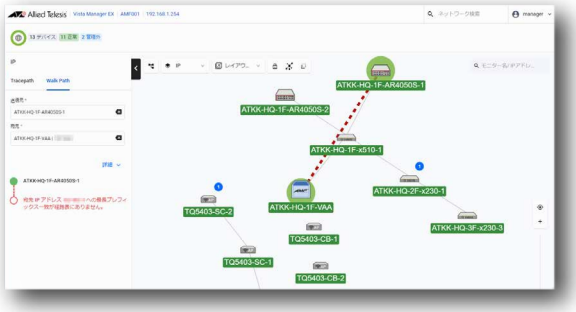
トラフィックマップから、WAN通信のアプリケーションごとの通信優先度を設定することが可能です。トラフィックマップでアプリケーションごとの通信状況を見ながら各アプリケーションの通信優先度を3段階に設定できます。設定後は優先度に応じた優先制御が自動的に行われるため、通信の安定に不可欠な管理者/エンジニアの工数を効果的に低減できます。

●業種ごとのセキュリティー設定（UTMセキュリティー）

小学校、中学校や工場など、利用する業種を指定するだけで、IPレピュテーションおよびWebコントロールの推奨設定をルーターに適用することが可能です。セキュリティーポリシーや用途に応じた細かなセキュリティー設定が不要となり、GUI上から複数回のクリックで設定が完了できます。

●IP経路表示

IPノード間の経路情報をマップ上で表示することが可能です。複数の経路が存在する場合の表示にも対応します。ネットワークの構築時やトラブルシューティングに有効です。



●IP経路表示
IPノード間の経路情報を表示

●自動帯域制御（WANトラフィックシェーピング）

自動帯域制御に対応し、プライベートネットワークの品質保証を実現します。センタールーターと複数の拠点ルーターが相互接続されている環境で、拠点側からセンター側へのトラフィックが集中した場合、拠点側からセンターへの通信を抑制することで、センター側通信の品質低下や輻輳を防ぐことが可能です。

●VPNトンネル構築（ダイナミックVPN）

トポロジーマップ上から、ルーター間にマウスで線を引くだけで、当該箇所にVPNトンネルを構成することが可能です。これまで複雑な設定や高度な知識が必要だったVPNトンネルの構成をGUI上で作成できるようになり、作業を簡素化できます。

●アプリケーションごとの経路制御（インターネットブレークアウト）

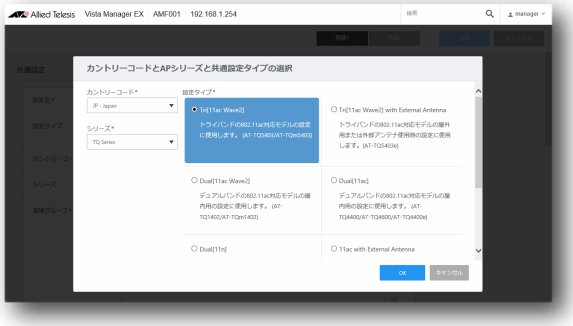
トラフィックマップから、個々のアプリケーションごとにインターネットブレークアウトの要否を設定することが可能です。特定のアプリケーションによる通信がセンター回線に集中した際、そのアプリケーションを利用した通信のみ各拠点から直接インターネットに接続することで、WAN回線の効率的な利用を実現します。
AT-AR4050S-5G/AR4050S/AR3050Sで判定されたDPIの結果は、AT-AR2050V/AR2010Vと共有できます。対応する製品をご利用の場合は、5G通信を使用したインターネットブレークアウトも可能です。

AT-VST-APL シリーズ

Vista Manager（AWC）【拡張ライセンス】

●無線AP管理

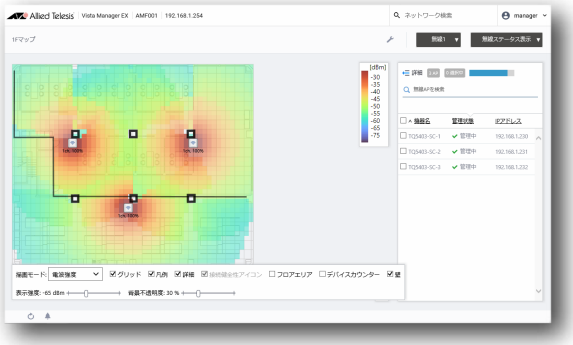
自律型無線LANコントローラー（AWC）は、管理対象の無線LANアクセスポイント周囲の電波出力、チャンネルを常に認識し、最適化することで、無線LANの運用コストを低減します。



●無線AP集中管理
AP共通設定の作成

●フロアマップ（無線AP）

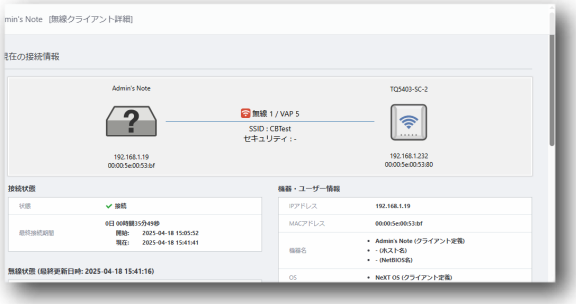
無線LANアクセスポイントを実際の環境に応じて配置させ、表示することで視覚的に管理できます。
無線のチャンネルや電波強度を色分け表示し、電波の可視化も可能です。
また、エラーが起きたときにはマップ上に表示されるため、視覚的に状況を把握することができます。さらに、マップ上で壁や柱など遮蔽物の編集が可能で、電波が届きにくい材質や周波数帯を考慮し、無線電波の状態をより詳細に把握可能です。
3D表示モードでは、複数フロアを同時に表示することで、上下方向も含めたチャンネル構成の確認が可能です。また、フロアの傾きや回転を指定することもできます。



●フロアマップ（無線AP）
無線チャンネルと電波強度の表示

●無線クライアント表示機能

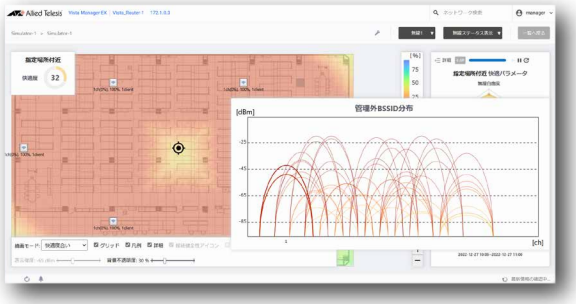
無線クライアントの接続状況や接続履歴を可視化して表示することができます。無線クライアントのOS情報、ホスト名、IPアドレス、電波強度や同時接続台数などの情報を表示可能です。これにより、特定の期間にAPへの接続が集中したか等を容易に確認できるため、リアルタイムなローミング状況の把握や、動線管理も可能となります。



●無線クライアント詳細
無線クライアントの接続状況を可視化

●無線快適度表示機能

無線の使用率、無線クライアントの状態、管理外無線LANアクセスポイントとの電波の干渉度合いなどを自動で収集・分析し、現在の無線環境の快適度を視覚的に表示します。
無線環境の状態をグラフィカルに把握でき、無線環境の改良や拡張計画に有益です。また、外来波やテザリング端末の電波を可視化できます。特に影響度の高い不正BSSIDのうち上位3つの位置を推定した結果をフロアマップ上に可視化することができます。



●不正BSSID分布表示
外来波やテザリング端末の電波を可視化

Vista Manager（AWC）【拡張ライセンス】

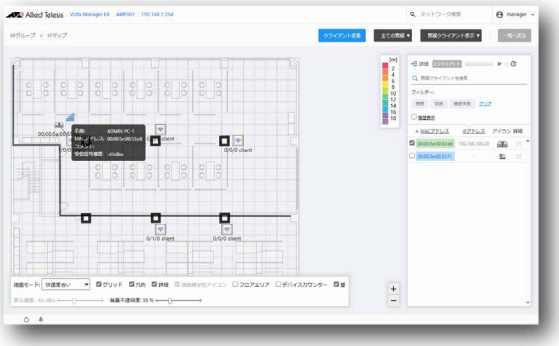
●Radio Clip

無線快適度表示の中で表示される接続端末の電波強度を表示します。

RSSI値をアイコンで表示することが可能なので視覚的に端末から見た電波の強さを把握することが可能です。

接続無線LANアクセスポイント付近に表示された端末に電波強度のアイコンが表示されます。

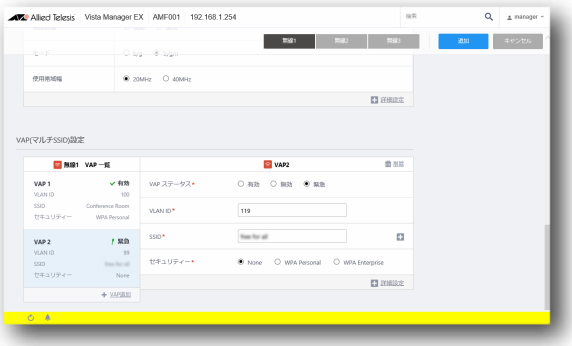
※3 端末側のWi-Fiマークの表示とは一致しません。



●Radio Clip
端末の電波・通信状態をアイコンで表示

●緊急モード

複数台の無線LANアクセスポイントに対して、緊急時用として設定されているSSIDを一括で有効化/無効化できます。大規模災害時の無線LAN開放を簡単な操作で実現します。



●緊急モード
緊急モードの有効化

●オートリカバリー※4

AT-TQシリーズをAMFゲストノードとして管理している場合は、オートリカバリーに対応します。故障などによる機器交換の際に、面倒な設定作業が不要となります。

※4 本機能の詳細や必要な構成等については、リファレンスマニュアルをご参照ください。

●リモートモニター機能による無線環境の分散管理

Vista Manager miniによって管理されている複数の無線LAN環境を、AT-VST-APLシリーズから集中管理することができます。拠点ごとのフロアマップを一元的に表示すると同時に、各無線LANアクセスポイントのログ情報も一括して収集することができます。

●履歴データの蓄積（AWC-VAS）

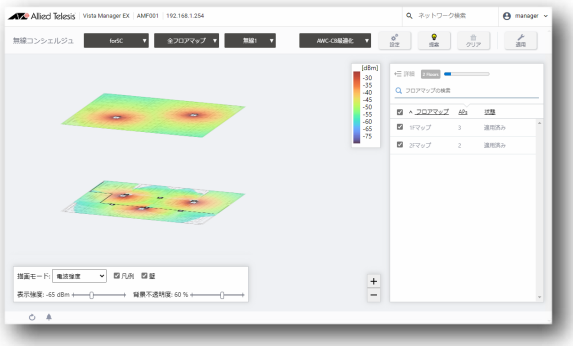
本製品をAT-Vista Manager EX（Windows版）の無線データベース・ストレージ専用デバイスとしてご利用いただくことが可能です※5。

※5 AWC-VAS専用デバイスとしてご利用いただく際は、本製品の他の機能との併用はできません。

●無線コンシェルジュ機能

ヒートマップの3D表示により、無線の電波強度を多次元的に管理できます。

さらに、セルまたはAWC-CB使用時には、無線チャンネルの干渉、外来波の影響や、無線LANアクセスポイントの稼働状況を考慮し、最適な無線チャンネル、送信出力、稼働無線LANアクセスポイントを提案します。管理者はAT-VST-APLシリーズの提案を適応することで、より簡単に無線環境を構築できます。



●無線コンシェルジュ機能
フロアマップ階層表示による電波強度の表示

●無線エリアの自動補完（AWC-SAC）

無線コンシェルジュのスマートアクティベーション機能により、無線エリアのカバレッジ制御が可能となります。

無線LANアクセスポイントの稼働状況を考慮し、スタンバイモードになった無線LANアクセスポイントは、何らかの理由により電波状態が悪化した場合に自律的に電波送信を開始することで、無線エリアの自動補完を実現し、安全性の高い無線環境をご提供します。

●AMF-SEC連携

OpenFlow機能ライセンスを適用したAT-TQシリーズも、無線LANアクセスポイント管理と電波調整の対象とすることが可能です。

例えば、ブロック中の無線端末がWebブラウザーを利用してインターネットアクセスした際に、事前に指定したURLへリダイレクトさせることも可能です。

Vista Manager（AWC-CB（チャンネルブランケット）/AWC-SC（スマートコネクト））【拡張ライセンス】

●ローミングレスを実現するAWC-CB

独自のチャンネルブランケットテクノロジーとなるAWC-CBと、対応する無線LANアクセスポイントによって、セル型とブランケット型の無線LANサービスを同時利用可能なハイブリッド・ワイヤレスシステムを構築可能です。

セル型無線LANの高速・大容量通信と、ブランケット型無線LANのローミングレス通信を同時にご提供します。

ブランケット型の無線LANサービスでは、複数の無線LANアクセスポイントをシングルチャンネルで運用します。このため、移動する無線端末において、ローミングによる再接続が発生しないとともに、常に至近距離にある無線LANアクセスポイントに接続できるようになります。

また、ブランケット型の無線LANサービスは、限られた無線資源の有効活用にも最適です。一般的に混雑することが多い2.4GHz帯では特に効果的です。接続クライアントの動きなどを学習し、利用環境に応じた最適なAWC-CBグループ分割を提案することも可能です。

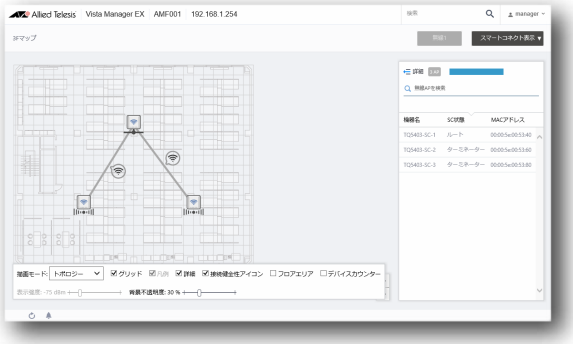
●マルチコミュニケーションテクノロジー

ブランケット型運用時において、互いに電波干渉しない複数の無線端末は、異なる無線LANアクセスポイントを利用して同時に通信が可能です。

●LANケーブル工事不要のAWC-SC

AWC-SCは、LANケーブル工事にかかるコストを抑えて無線LANアクセスポイントの設置や増設を可能にします。

無線LANアクセスポイント間の無線接続は、自動的に冗長経路も構成されます。万が一、予期せぬトラブルなどによりひとつの無線経路がダウンしても、すばやく冗長経路に切り替えが行われますので、無線LANの安定性が向上します。



●スマートコネクト接続表示

AWC-SCによる無線AP間接続のマップ表示

AWC-SCのAP間接続状況は、AWCのフロアマップだけでなく、有線と無線を統合したネットワークマップ上でも確認できます。

AMF-SEC【拡張ライセンス】

AMF-SECは、UTMやファイアウォールなどのアプリケーションとAMF Plusを連携し、利用者端末のアクセス制御・監視・管理を行うことで、ネットワーク全体のセキュリティーを強化するためのソリューションです。

UTMやファイアウォール・エンドポイントセキュリティーなどのセキュリティー関連アプリケーションや、人事管理・IT資産管理・入退室管理などの豊富なアプリケーションを、アライドテレシス社製スイッチ・ルーター・無線LANアクセスポイントと連携することで、ネットワークの運用の効率化とセキュリティーの強化を実現します。

●セキュリティー強化

当社独自のネットワーク仮想化テクノロジー AMF Plusと連携し、UTMやファイアウォールなどのセキュリティーアプリケーションの脅威情報を基に、アクセス制御をAMF Plusメンバー装置に対して実現します。

AMF Plusでネットワークの統合管理とアクセス制御の両方を実施できるため、ネットワーク構成をシンプルにすることができます。また、エッジ・スイッチからコア・スイッチ/シャーシ・スイッチやルーターなど、AMF Plusに対応する当社のほぼすべてのインテリジェント機器とセキュリティーアプリケーションが連携でき、セキュリティー強化に加えコスト最適化も実現可能です。

●運用管理の効率化

人事管理・IT資産管理・入退室管理などのマネージメント関連のアプリケーションとも連携できます。人事異動などの設定をアプリケーションに行うことでVLAN設定を自動的に反映させることができ、運用・管理コストを大幅に削減することが可能です。

●デバイス認証・アクセス制御

接続デバイスのMACアドレスを用いたダイナミックVLAN仮想化ネットワークソリューションをご提供します。

複数のロケーション条件・スケジュール条件などを自由に組み合わせて、それぞれの利用環境に合わせたアクセス制御を実現できます。

●Wi-Fi 6(E)/7環境対応

AMF Plus構成時には、AMFアプリケーションプロキシーに対応する無線LANアクセスポイントをAWCで管理することで、無線環境の許可/拒否リスト制御も可能となります。

Wi-Fi 6(E)/7対応の無線LANアクセスポイントも利用可能です。

AMF-SEC【拡張ライセンス】

●デバイス一括管理 / 通信遮断・通信隔離

許可されたデバイスの利用者、接続ポートなどの接続情報を一括確認できます。条件に応じて、標的型サイバー攻撃やマルウェア感染など、セキュリティー上思わしくない状態に至ったデバイスや利用者の通信を遮断したり、検疫ネットワークへ隔離したりすることができます。

連携アプリケーションからの指示以外に、AMF-SECのGUI上から、被疑端末のIPv4アドレス、MACアドレス、デバイス名称、デバイスタグ名称指定により、遮断などのアクションを設定できます。

●許可リスト学習モード

スイッチやルーターなどのAMF Plusメンバー機器およびOpenFlow機能対応機器に、接続または通信を行っているデバイス情報（MACアドレス）を、自動で収集することが可能になります。

これにより、ネットワーク構築時にデバイス情報（MACアドレス）を自動的に収集することができるため、ネットワーク構築時の期間やコストを大幅に短縮・削減することができます。

●未認証デバイスネットワーク

一括管理されていないデバイスのためにゲストネットワークを簡単に構築できます。

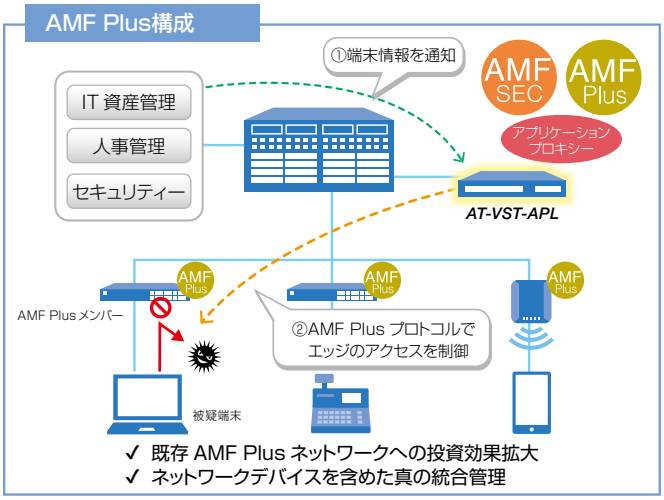
認証条件に一致しない不特定多数のデバイスを決められたネットワークに許可したり、決められた時間や場所でネットワーク参加を限定したりすることが可能となります。

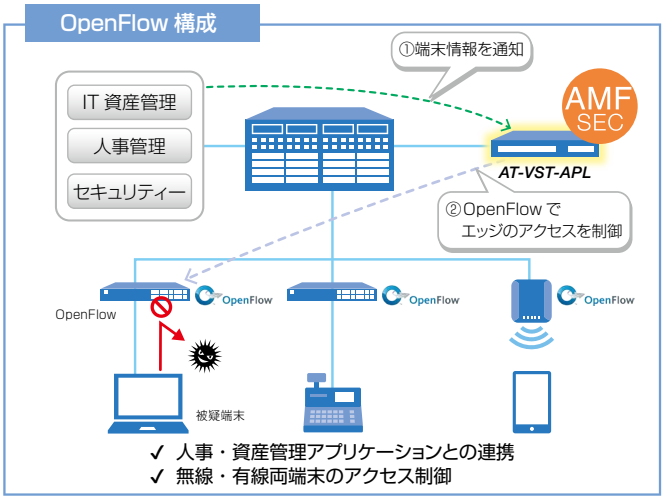
接続されたデバイスの場所や台数なども一括で確認でき、ネットワーク運用や構成変更に必要なコストを削減します。

●OpenFlow機能対応

OpenFlow仕様バージョン1.3に基づいて、OpenFlow機能対応スイッチなどのデバイスも制御することができます。

エッジ・スイッチや無線LANアクセスポイントなどのネットワーク・デバイスを一括制御でき、プロビジョニング、運用、管理、拡張などのメンテナンスコストを削減します。





SNMP マネージャー【拡張ライセンス※6】

※6 管理対象のネットワークがAMF Plus環境の場合はライセンス不要でSNMPマネージャー機能をご利用いただけます。

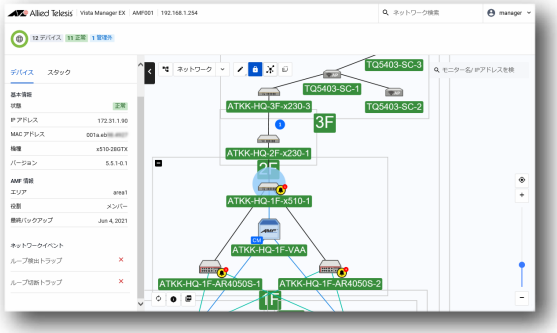
AMF Plus環境でご利用の場合は、ライセンス不要でSNMPマネージャー機能をご利用いただけます。これにより、機器の詳細情報の取得やAMF Plus非対応の機器も管理可能となり、ネットワーク管理の柔軟性が向上します。

AMF環境の場合も、SNMPマネージャーライセンスの適用により本機能をご利用いただけます。

●SNMP管理

SNMPエージェントに対応する機器の詳細情報を取得して、統計情報のグラフ表示が可能です。サブネット上のSNMPエージェントを自動的に探索し、各機器をツリー状に表示しますので、ネットワーク全体の構成を容易に把握することができます。AMF Plus環境でご利用の場合は、SNMPトラップやループ障害などをAMFトポロジーマップ上に通知することも可能です。

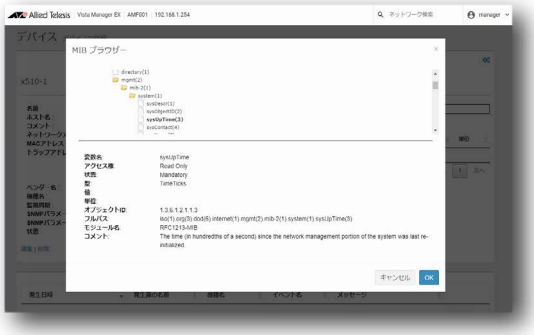
●ネットワークツリー
デバイスのツリー表示



●ループ検出の通知
ネットワークマップにおけるループ検出トラップの表示

●MIBノードツリー

MIBブラウザー画面では、機器のMIBノードツリーが表示され、ネットワーク上のMIB情報を確認することが可能です。ユーザーは、トポロジーマップ上では確認できない機器の詳細情報をGUI上から簡単に確認できます。



●MIBノードツリー
MIBノードのツリー表示

AT-RADgate【拡張ライセンス】

AT-RADgateはAMF Plusと連携可能なRADIUSサーバーです。

一般的なRADIUSサーバーとしてご利用いただけるだけでなく、AMF PLUSによるIES（Intelligent Edge Security）との連携が可能です。AT-Vista Manager EXと認証情報を共有し、管理下のネットワークに接続されるクライアントの接続可否を一括して管理することが可能となります。

仕様※1

準拠規格	AT-VST-APLシリーズ共通			
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation（static and dynamic）※2			
	AT-VST-APL-10			
	IEEE 802.3an 10GBASE-T			
適合規格	CE※3			
	安全規格	UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1※3		
	EMI規格	VCCIクラスA		
	EU RoHS指令			
	電気通信事業法に基づく技術基準	D21-0116201※4		
ポート	—	AT-VST-APL-06	AT-VST-APL-10	
	10/100/1000BASE-T（RJ-45コネクター）※5	×6	×6	
	オートネゴシエーション、MDI/MDI-X自動認識			
	100/1000/10GBASE-T（RJ-45コネクター）※5	—	×4	
	オートネゴシエーション、MDI/MDI-X自動認識			
	RS-232（RJ-45コネクター）	×1（未サポート）		
	USB（USB3.0、タイプA（メス））※6	×2		
通信速度	AT-VST-APL-06	10Mbps/100Mbps/1000Mbps		
	AT-VST-APL-10	10Mbps/100Mbps/1000Mbps/10Gbps		
使用ケーブル	10BASE-T	UTPカテゴリー3以上		
	100BASE-TX	UTPカテゴリー5以上		
	1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリー5以上		
	10GBASE-T	UTP/STPカテゴリー6/6A※7		
LED	ステータスLED			
	POWER	緑	電源供給時に点灯	
	ACCESS	青	内蔵ストレージへのアクセス時に点灯	
	10/100/1000BASE-TポートLED			
	L/A	緑	リンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	SPD	橙	1000Mbpsでリンク確立時に点灯	
		緑	100Mbpsでリンク確立時に点灯	
	100/1000/10GBASE-TポートLED（AT-VST-APL-10）			
	L/A	緑	リンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅	
	SPD	緑	10Gbpsでリンク確立時に点灯	
		橙	1000Mbpsでリンク確立時に点灯	
設定スイッチ	電源スイッチ	電源オン/オフの切り替え		
	リセットボタン	本製品の再起動		
電源部	—	AT-VST-APL-06	AT-VST-APL-10	
	定格入力電圧	AC100-240V※8	AC100-240V※8	
	入力電圧範囲	AC90-264V※8	AC90-264V※8	
	定格周波数	50/60Hz	50/60Hz	
	定格入力電流	2.5-1.5A	2.5-1.5A	
	最大入力電流（実測値）	1.3A	1.6A	
	平均消費電力	80W（最大110W）	100W（最大150W）	
	平均発熱量	280kJ/h（最大410kJ/h）	370kJ/h（最大530kJ/h）	
環境条件	動作時温度	0～40℃		
	動作時湿度	5～90%（結露なきこと）		
	保管時温度	-25～70℃		
	保管時湿度	5～95%（結露なきこと）		
外形寸法	438（W）×292（D）×44（H）mm（突起部含まず）			
質量	AT-VST-APL-06	4.5kg		
	AT-VST-APL-10	4.9kg		
パッケージ内容	本体、電源ケーブル※8、19インチラックマウントキット（1式）、ゴム足（4個）、梱包内容、本製品をお使いの前に、サポートサービスに関するご案内、英文製品情報※9、製品保証書（1年間）			
設定環境	Webブラウザー	Microsoft Edge、Google Chrome		
管理可能数	AMF Plus Cloud※10			
	AMF Plusコントローラー	AMF Plusマスター管理数	最大1000台	
	AMF Plusマスター	AMF Plusメンバー管理数	最大350台	
	Vista Manager APL			
	AMF Plusネットワーク	1		
	AMF Plusデバイス	1AMF Plusネットワークあたり	最大350ノード	
	SNMPエージェント	最大1000台		
	無線LANアクセスポイント	システム全体	最大500台	
		管理可能なAT-TQシリーズ	最大500台	
		管理可能なAT-TQmシリーズ	機種ごとに最大100台まで	
		管理可能な無線クライアント数	最大3000台	
	AWC-CB（チャンネルブランケット）	ブランケット設定数	最大20個	
		ブランケット内アクセスポイント数	最大100台	
		アクセスポイントあたりのブランケット数		
		AT-TQ5403 AT-TQ5403e	最大6個※11	
		AT-TQ6602	最大20個※12	
		AT-TQ6702 GEN2※13 AT-TQ6702e GEN2※14 AT-TQ6602 GEN2※13 AT-TQ6403 GEN2※15	最大14個※16	
		AT-TQ7403	最大21個※17	
		ブランケット内無線クライアント数		
		AT-TQ5403 AT-TQ5403e AT-TQ6702 GEN2 AT-TQ6702e GEN2 AT-TQ6602 GEN2 AT-TQ6403 GEN2	最大500台	
		AT-TQ6602	最大320台	
		AT-TQ7403（ラジオ1/ラジオ2） AT-TQ7403（ラジオ3）	最大500台 最大256台	
	AWC-SC（スマートコネクト）	ホップ数	2ホップまで	
		サテライトAP数		
		AT-TQ5403 AT-TQ5403e	1ホップあたり4APまで	
		AT-TQ6702 GEN2 AT-TQ6602 GEN2	1ルートAPあたり21APまで	
	リモートモニター※18	Vista Manager mini管理数	最大60台	
		アクセスポイントのログ保持期間	最大366日	
	AMF-SEC			
	AMF-SEC対応ネットワーク装置管理	AMFアプリケーションプロキシー許可リスト		
		最大300		
		AMFアプリケーションプロキシー拒否リスト		
		最大300		
		OpenFlow機能※19		
		OpenFlow/SES Ready ライセンス対応機器	最大500	
	MACアドレス管理	管理可能MACアドレス数	最大5000	
	ポリシー管理	管理可能ポリシー数	最大5000	
	デバイス管理	デバイス数	最大5000	
	ロケーション管理	登録可能数	最大300	
	VLAN	0～4094		
	AT-RADgate			
	管理可能エントリー数	最大200,000		
サポート機能	AMF Plus Cloud			
	AMF Plus コントローラー	AMF Plusコントローラー、AMFエリア仮想リンク、ローカルマスターへのワーキングセット、ローカルマスターのオートリカバリー、ローカルマスターのバックアップ情報取得、Telnetサーバー/クライアント、SSHサーバー/クライアント、DHCPクライアント、ログ、スクリプト、トリガー、SNMP、NETCONF/RESTCONF、Ping/Traceroute		
	AMF Plus マスター	AMF Plusマスター、AMFエリア仮想リンク、AMF Plusメンバーへのワーキングセット、AMF Plusメンバーのオートリカバリー、AMF Plusメンバーのバックアップ情報取得、ゼロタッチインストレーション、AMFアプリケーションプロキシー、Telnetサーバー/クライアント、SSHサーバー/クライアント、DHCPクライアント、ログ、スクリプト、トリガー、SNMP、NETCONF/RESTCONF、Ping/Traceroute		
	Vista Manager APL			
	AMF Plusノード管理※20	WAN/LANを統合するトポロジーマップ、AMF Plusノード詳細、マップの階層化、VLAN設定、コンフィグファイル管理、トラフィック表示、イベントのリアルタイム表示、ローカルRADIUSの管理、Syslogメッセージ収集、SNMPトラップ受信、イベントフィルター、メール送信、Slack通知		
	AMF Plus統合管理※21	自動帯域制御、VPNトンネル構築、アプリケーションQoS、インターネットブレークアウト、UTMセキュリティー、IP経路表示、ヘルスモニター・ダッシュボード、デバイスディスカバリー、IES、インテントベースQoS、スマートACL、Windowsサーバーモニター		

AT-VST-APL シリーズ

仕様※1

	無線LAN コントローラー	フロアマップ一覧、フロアマップ詳細、 複数フロアの3D表示、電波管理、 無線コンシェルジュ、無線エリアの自動補完、 無線APの登録、無線APの編集、 無線APのセキュリティー、 無線APのオペレーション、無線APの共通設定、 無線AP一覧、無線AP詳細、AWC計算履歴、 緊急モード、オートリカバリー、 MACアドレスフィルタリング、 AWCチャンネルブランケット（AWC-CB）、 AWCスマートコネクト（AWC-SC）
	共通	言語選択（日本語/英語）、ユーザー作成、 ユーザー削除、アカウントタイプの指定、 エリアごとの操作権限の指定、 機器のファームウェア管理、ライセンス管理、 プラグイン管理、システムのバックアップ、リストア
	SNMPマネージャー	
	WebUI	SNMPv1/v2c/v3※22、 ネットワーク構成/機器機能の自動探索、 ツリーによる接続構成表示、機器の一覧表示、 監視対象機器の追加/削除、 アイコンによる状態表示（機器の応答の有無）、 MIBコンパイラー、イベントフィルター設定とアクション設定（メール送信の実行）
	AMF-SEC	
	OpenFlow機能※19 AMF Plus連携機能	許可リスト学習機能、アプリケーション連携、 AMF Plus連携、設定のバックアップとリストア、 ログ出力、メール通知
	AT-RADgate	
	MACベース認証、IEEE 802.1X認証、Web認証、 サプリカントプロファイルポリシー、証明書のインポート、 外部サーバー証明書発行※23、Active Directory連携、IES連携、 ローカルCA、LDAP連携、RADIUSプロキシー、ログレベル管理、 システムメンテナンス（バックアップ、復元、初期化）、 データベース管理（バックアップ、インポート、初期化、最適化）、 SMTP OAuth 2.0、レプリカ設定による認証処理の冗長化	
	共通	
	Ethernet bonding機能	

※1 管理対象となる機種とファームウェアバージョンは、弊社ホームページをご覧ください。無線LANアクセスポイントについては、機種によってサポート機能が異なりますので、詳細はリファレンスマニュアルをご確認ください。

※2 IEEE 802.3adと同等。
リンクアグリゲーション（Static/Dynamic）に対応しているため、最大6個の10/100/1000BASE-Tポートをひとつのアグリゲーショングループとして構成可能です。

※3 ハードウェアリビジョン Rev.B以降適合

※4 ハードウェアリビジョン Rev.D以降適合

※5 10/100/1000BASE-Tポート、100/1000/10GBASE-Tポートにスイッチング機能やルーティング機能はありません。アプリケーションごとにポートを割り当てセグメントを分けてご利用いただけます。

※6 バックアップ/リストア用途として利用可能です。

※7 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。

※8 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

※9 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

※10 AMF Plusコントローラー/マスターライセンスは、パッケージバージョン3.6.1以降でご利用いただけます。

※11 AT-TQ5403 ファームウェアバージョン6.0.1-1.1以降使用時。2.4GHz帯/5GHz帯W52で各3個

※12 AT-TQ6602 ファームウェアバージョン7.0.1-1.1以降使用時。2.4GHz帯/5GHz帯W52で各10個

※13 AT-TQ6702 GEN2/AT-TQ6602 GEN2 ファームウェアバージョン8.0.2-1.1以降使用時

※14 AT-TQ6702e GEN2 ファームウェアバージョン9.0.4-2.1以降使用時

※15 AT-TQ6403 GEN2 ファームウェアバージョン9.0.4-3.1以降使用時

※16 2.4GHz帯/5GHz帯W52で各7個

※17 AT-TQ7403 ファームウェアバージョン10.0.4-2.1以降使用時。2.4GHz帯/5GHz帯 W52/6GHz帯で各7個

※18 リモートモニター機能をご利用の際は、無線LANコントローラーライセンスをお求めください。Vista Manager miniが管理する無線AP台数は、AT-VST-APLの無線LANコントローラーライセンスの積み上げ分にはカウントされません。Vista Manager mini側の無線AP管理台数に応じたライセンスによりご利用が可能となります。

※19 OpenFlow機能は拡張ライセンスによりご利用いただけます。なお、OpenFlowとAMFアプリケーションプロキシーの混在構成はサポートしていません。

※20 イベントログの表示には、AMF Plusコントローラーライセンスまたは AMF Plusマスターライセンスが必要です。

※21 パッケージバージョン3.6.1以降でご利用いただけます。

※22 パッケージバージョン3.5.3以前ではSNMPv1/v2cとなります。

※23 サポート予定

製品ラインナップ※1

コードNo.	製品名	製品概要
AT-VST-APL-06本体		
P0832	AT-VST-APL-06b	AT-Vista Manager アプライアンス
P0832Z5	AT-VST-APL-06b-Z5	AT-Vista Manager アプライアンス（デリバリースタンダード保守5年付）
P0832Z7	AT-VST-APL-06b-Z7	AT-Vista Manager アプライアンス（デリバリースタンダード保守7年付）
AT-VST-APL-10本体		
P0845	AT-VST-APL-10b	AT-Vista Manager アプライアンス 拡張ポート付
P0845Z5	AT-VST-APL-10b-Z5	AT-Vista Manager アプライアンス 拡張ポート付（デリバリースタンダード保守5年付）
P0845Z7	AT-VST-APL-10b-Z7	AT-Vista Manager アプライアンス 拡張ポート付（デリバリースタンダード保守7年付）
AMF Plusコントローラーライセンス		
05912	AT-AMFCLOUD-CTRLPLUS-1Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusコントローラー（10マスター管理 1年）
05913	AT-AMFCLOUD-CTRLPLUS-5Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusコントローラー（10マスター管理 5年）
05914	AT-AMFCLOUD-CTRLPLUS-7Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusコントローラー（10マスター管理 7年）
05915	AT-AMFCLOUD-CTRLPLUS-1Y-2022更新用※2	AMF Plus対応AMF Plusコントローラー（10マスター管理 1年更新用）
AMF Plusマスターライセンス※3		
05916	AT-AMFCLOUD-APM20L-1Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusマスター 基本パッケージ（10メンバー（20リンク）管理 1年）
05917	AT-AMFCLOUD-APM20L-5Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusマスター 基本パッケージ（10メンバー（20リンク）管理 5年）
05918	AT-AMFCLOUD-APM20L-7Y-2022	AMF Plus対応AMF Plusマスター 基本パッケージ（10メンバー（20リンク）管理 7年）
05919	AT-AMFCLOUD-APM20L-1Y-2022更新用※2	AMF Plus対応AMF Plusマスター 基本パッケージ（10メンバー（20リンク）管理 1年更新用）
05920	AT-AMFCLOUD-APMADD2L-1Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（1メンバー（2リンク）追加 1年）
05921	AT-AMFCLOUD-APMADD2L-5Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（1メンバー（2リンク）追加 5年）
05922	AT-AMFCLOUD-APMADD2L-7Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（1メンバー（2リンク）追加 7年）
05923	AT-AMFCLOUD-APMADD2L-1Y-2022更新用※2	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（1メンバー（2リンク）追加 1年更新用）
05924	AT-AMFCLOUD-APMADD20L-1Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（10メンバー（20リンク）追加 1年）
05925	AT-AMFCLOUD-APMADD20L-5Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（10メンバー（20リンク）追加 5年）
05926	AT-AMFCLOUD-APMADD20L-7Y-2022	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（10メンバー（20リンク）追加 7年）
05927	AT-AMFCLOUD-APMADD20L-1Y-2022更新用※2	AMF Plusメンバー 追加ライセンス（10メンバー（20リンク）追加 1年更新用）
無線LANコントローラーライセンス※4		
02693	AT-VST-WL-1Y	AT-Vista Manager EX 無線LANコントローラーライセンス（10AP）1年
04120	AT-VST-WL-5Y	AT-Vista Manager EX 無線LANコントローラーライセンス（10AP）5年
02957	AT-VST-WL-7Y	AT-Vista Manager EX 無線LANコントローラーライセンス（10AP）7年
03204	AT-VST-WL-1Y更新用※2	AT-Vista Manager EX 無線LANコントローラーライセンス（10AP）1年更新用
AWC-CB（チャンネルブランケット）・AWC-SC（スマートコネクト）ライセンス※5		
04397	AT-VST-CB-1Y-2022	AT-Vista Manager EX ＜AWC-CB＋AWC-SC＞ 無線チャンネルブランケットライセンス（10AP）1年
04548	AT-VST-CB-5Y-2022	AT-Vista Manager EX ＜AWC-CB＋AWC-SC＞ 無線チャンネルブランケットライセンス（10AP）5年
04549	AT-VST-CB-7Y-2022	AT-Vista Manager EX ＜AWC-CB＋AWC-SC＞ 無線チャンネルブランケットライセンス（10AP）7年
04550	AT-VST-CB-1Y-2022更新用※2	AT-Vista Manager EX ＜AWC-CB＋AWC-SC＞ 無線チャンネルブランケットライセンス（10AP）1年更新用
AWC-CB（チャンネルブランケット）ライセンス※5		
03202	AT-VST-CB-1Y更新用※2	AT-Vista Manager EX 無線チャンネルブランケットライセンス（10AP）1年更新用
AWC-SC（スマートコネクト）ライセンス※5		
03804	AT-VST-SC-1Y更新用※2	AT-Vista Manager EX 無線スマートコネクトライセンス（10AP）1年更新用
SNMPマネージャーライセンス※6		
02695	AT-VST-SNMP-1Y	AT-Vista Manager EX SNMPマネージャーライセンス 1年
04123	AT-VST-SNMP-5Y	AT-Vista Manager EX SNMPマネージャーライセンス 5年
02956	AT-VST-SNMP-7Y	AT-Vista Manager EX SNMPマネージャーライセンス 7年
03203	AT-VST-SNMP-1Y更新用※2	AT-Vista Manager EX SNMPマネージャーライセンス 1年更新用

AT-VST-APL シリーズ

製品ラインナップ※1

コードNo.	製品名	製品概要
AMF-SECライセンス※3		
04181	AT-VST-APL-ASEC-1Y-2020更新用※2※7	AT-VST-APL用AMF Security mini 1年更新用
04200	AT-SESC-BaseST-FLBD-1Y-2020	AMF-Security基本ライセンス＋OpenFlow機能/SESReadyライセンス（50IP、1年）
04201	AT-SESC-BaseST-FLBD-5Y-2020	AMF-Security基本ライセンス＋OpenFlow機能/SESReadyライセンス（50IP、5年）
04202	AT-SESC-BaseST-FLBD-7Y-2020	AMF-Security基本ライセンス＋OpenFlow機能/SESReadyライセンス（50IP、7年）
04203	AT-SESC-BaseST-FLBD-1Y-2020更新用※2※8	AMF-Security基本ライセンス＋OpenFlow機能/SESReadyライセンス（50IP、1年更新用）
04204	AT-SESC-50-Lic-FLBD-1Y-2020※8	AMF-Security追加ライセンス＋OpenFlow機能/SES Readyライセンス（50IP、1年）
04205	AT-SESC-50-Lic-FLBD-5Y-2020※8	AMF-Security追加ライセンス＋OpenFlow機能/SES Readyライセンス（50IP、5年）
04206	AT-SESC-50-Lic-FLBD-7Y-2020※8	AMF-Security追加ライセンス＋OpenFlow機能/SES Readyライセンス（50IP、7年）
04207	AT-SESC-50-Lic-FLBD-1Y-2020更新用※2※8	AMF-Security追加ライセンス＋OpenFlow機能/SES Readyライセンス（50IP、1年更新用）
AT-RADgateライセンス※3		
07943	AT-RADIUS-1K-Lic-1Y-2024	AT-RADgate基本ライセンス（1000エントリー、1年）
07944	AT-RADIUS-1K-Lic-5Y-2024	AT-RADgate基本ライセンス（1000エントリー、5年）
07945	AT-RADIUS-1K-Lic-7Y-2024	AT-RADgate基本ライセンス（1000エントリー、7年）
07946	AT-RADIUS-1K-Lic-1Y-2024更新用※2	AT-RADgate基本ライセンス（1000エントリー、1年更新用）
07947	AT-RADIUS-1KADD-Lic-1Y-2024	AT-RADgate追加ライセンス（1000エントリー、1年）
07948	AT-RADIUS-1KADD-Lic-5Y-2024	AT-RADgate追加ライセンス（1000エントリー、5年）
07949	AT-RADIUS-1KADD-Lic-7Y-2024	AT-RADgate追加ライセンス（1000エントリー、7年）
07950	AT-RADIUS-1KADD-Lic-1Y-2024更新用※2	AT-RADgate追加ライセンス（1000エントリー、1年更新用）

※1　1年、5年、7年の利用期限付きライセンスをご購入いただけます。

※2　更新専用ライセンスになります。新規購入時の利用可能期間にかかわらず、利用期限付きライセンスを更新する場合は、更新専用ライセンスをご購入ください。

※3　追加ライセンスのみではご利用いただけません。基本パッケージまたは基本ライセンスが必須です。

※4　追加分のライセンスごとに指定した利用開始日が適用されるため、利用期限が異なるライセンスを追加することができます。

※5　チャンネルブランケット/スマートコネクトをお使いの場合は、チャンネルブランケット/スマートコネクトライセンスと同数以上の無線LANコントローラーライセンスが必要になります。

※6　管理対象のネットワークがAMF Plus環境の場合、ライセンス不要でSNMPマネージャー機能をご利用いただけます。

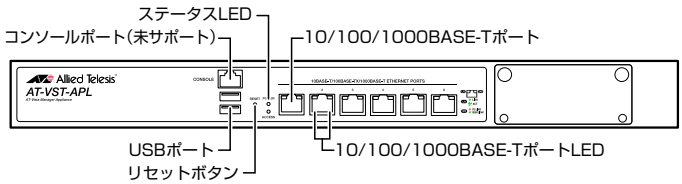
※7　AT-VST-APL-06bおよびAT-VST-APL-10bには適用できません。

※8　AT-VST-APLパッケージバージョン3.3.1（AMF Securityソフトウェアバージョン2.3.0）以降、ライセンス形態が変更されています。AMF Securityバージョン2.3.0へのバージョンアップ以降は、バージョン1.8.1以前に発行されたライセンスキーを引き続きご利用いただけますが、新しいライセンスキーとの混在利用はできなくなります。バージョン1.8.1以前にライセンスを適用している場合、ソフトウェアバージョンアップの際はご注意ください。詳細はAMF Security（AT-VST-APL版）リリースノートをご確認ください。

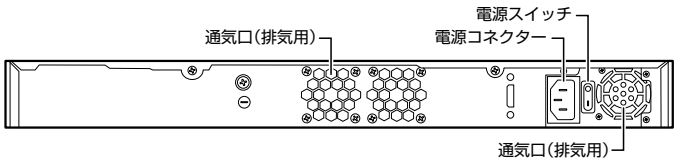
外観図

AT-VST-APL-06

前面

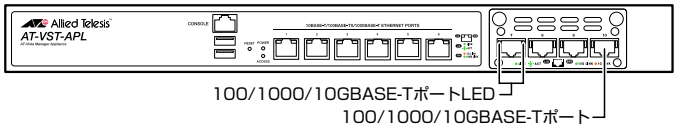


背面

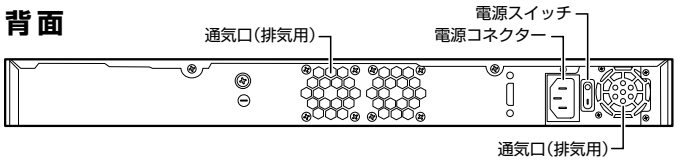


AT-VST-APL-10

前面

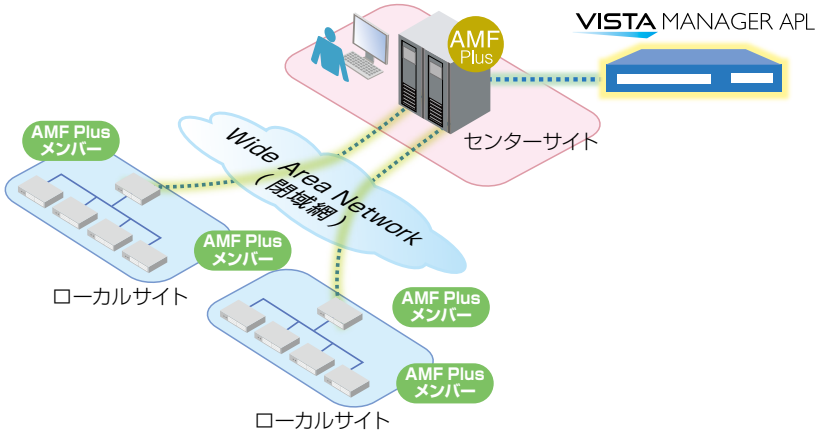


背面



構成例

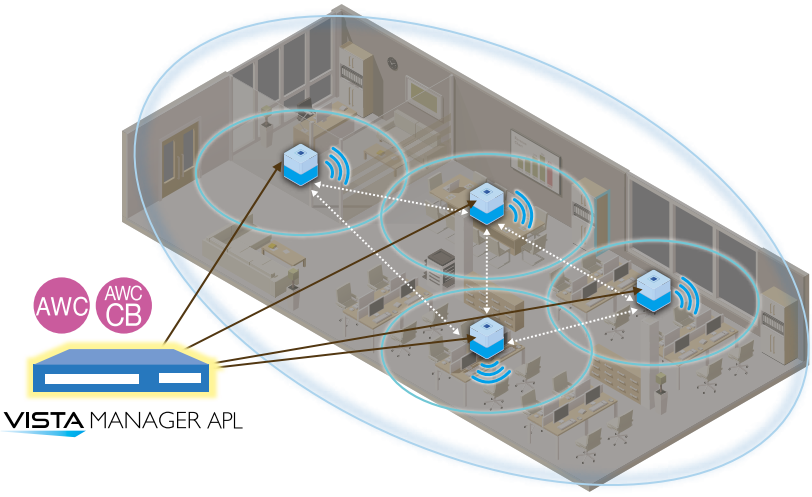
1. 有線ネットワーク監視・管理構成



既存の有線ネットワークにAMF Plusマスターを導入済みの場合は、AT-VST-APLシリーズを追加することで、Vista Manager APLによるネットワークの可視化、一元管理を容易に実現できます。

統合されたネットワークマップにより、遠く離れた拠点も含めたネットワーク監視と管理を可能とします。

2. ローミングレス無線環境構築



複数の無線LANアクセスポイントを効率よく管理・運用するためには無線LANコントローラーのご利用が最適となります。

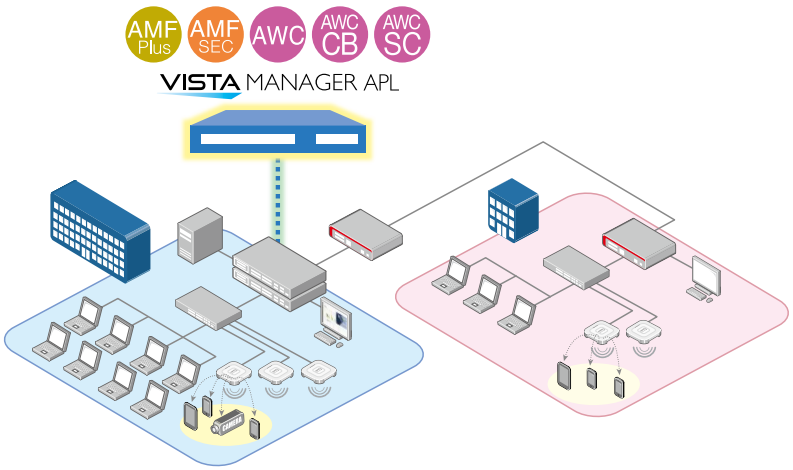
AT-VST-APLシリーズのVista Manager APLは、Wi-Fi利用による快適なIP電話環境を提供するAWC-CB(AWCチャンネルブランケット)にも対応しています。

無線LANコントローラーライセンスとチャンネルブランケットライセンスによりこれらの機能を有効化することができます。

AT-VST-APL シリーズ

構成例

3. オールインワン構成



新規ネットワーク構築や、既存ネットワークにAMF Plusマスターがない場合は、AT-VST-APLシリーズによるオールインワン構成が可能です。

AMF Plusマスター機能や無線LANコントローラー機能、さらにAMF-SECの各機能を併用することにより、有線も無線もVista Manager APLによる効率的なネットワーク管理に加えて、セキュリティー強化もオールインワンでご提供します。

各機能はアニュアルライセンスでご提供しておりますので、ライセンスをプラグインすることで必要な機能をご利用いただけます。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM、CentreNET、SwitchBlade、TELESYN、AlliedView、VCStackロゴ、EPSRingロゴ、LoopGuardロゴ、PoE plusロゴ、AT-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、SecureEnterpriseSDNロゴ、AT-VA、AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は
0120-860442 テレマーケティング (月～金/9:00～17:30)
販売店

製品のくわしい情報は(特長、仕様、構成図、マニュアル等)
ホームページ
http://www.allied-telesis.co.jp/

アライドテレシス株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル
最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください
弊社ホームページ≫会社案内≫事業所一覧